

Nitto

Innovation for Customers

第160期 第2四半期のご報告

2024年4月1日～2024年9月30日





TOP MESSAGE

トップメッセージ

代表取締役 取締役社長
CEO COO

高崎 秀雄

トップメッセージの太文字部分をクリックまたはタップいただくと、詳細ページをご覧ください。

2024年度上半期を終えて

2024年度上半期における経済環境は、これまで進んできた世界的なインフレが減速し、欧米の中央銀行が相次いで政策金利を引き下げたことで大きな転換期を迎えました。米国では、インフレ率が低下し、失業率がやや上昇したものの、歴史的に見て安定的な雇用情勢が個人消費を支え、景気のソフトランディングへの期待が高まっています。欧州においても、実質所得の増加による個人消費の回復から、景気の持ち直しが見られました。一方、中国ではIT関連機器や電気自動車（EV）の輸出が好調な反面、長引く不動産不況と厳しい雇用環境により国内需要が低迷し、景気は減速しました。日本では、物価上昇を上回る賃金上昇により個人消費に回復が見られたことや、好調な企業業績が設備投資を後押しすることで、景気は緩やかに回復しました。なお、為替相場は、歴史的な円安水準にあった第1四半期から一転し、米国の連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ観測がある中で、日銀が利上げに踏み切ったことで急速に円高が進みました。

このような中、当社グループの主要な市場においては、データセンター向けの高容量ハードディスクドライブ（HDD）やタブレット端末の生産が想定を上回り、当社製品の需要が増加しました。

以上の結果、2024年度上半期の業績は、前年同期比で売上収益16.1%増の5,217億円、営業利益69.5%増の1,093億円となりました。なお、通期業績は、売上収益9,820億円、営業利益1,800億円を見込んでおります。

世界で「なくてはならない」価値を追求

新しい取組みを始めるときは多くのエネルギーを必要としますが、動き出すとスピードは加速していきます。Nittoグループにとって2024年度はスピード感をもって完成度を上げていく年となります。Nittoでは未だ財務にならずとも、活動を推進することで将来財務となって利益を生んでいくという意味を込めて「未財務」という考え方をしています。製品系・環境系・人財系からなる「未財務」は、それぞれを向上させ、どれも欠けることなく相互に連携することで、「財務」に転換され企業価値向上につながると考えています。そして、2030年に「なくてはならないESGトップ企業」となるために、世界中で「なくてはならない」を追求し、存在価値を高めていきます。

今後は、製品の機能面に加えて、環境面においても価値を創出していくことが重要です。すべての製品がPlanetFlags™/HumanFlags™（環境・人類貢献製品）としてあらゆる分野ではためき、そしてGlobal Niche Top™やArea Niche Top™となるのが、私の夢です。引き続き、ステークホルダーの皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

利益還元について

Nittoグループは、株主の皆様に対して安定的に利益の還元を行うことを基本にしています。一方、急速な技術革新への対応と顧客ニーズにタイムリーに応えるために、内部留保を使って研究・開発および生産に関わる積極的な先行投資を行っていくことも必要不可欠です。株主の皆様に対する配当金につきましては、将来の投資機会、財務状況、資本効率、利益水準、および配当性等を総合的に勘案して実施することとしています。また、内部留保についても定期的に水準を確認し、総合的に勘案して使途を定めていきます。当社は2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。中間配当金は、株式分割実施前の株式数を対象とし、1株につき140円とさせていただきます。なお、2024年度の年間配当金は、株式分割実施前の基準で1株につき年間280円を予定しております。

TOPICS 1 ARグラス開発企業 TruLife Optics社の株式を一部取得

拡張現実 (AR) グラスは、現実の景色に仮想の情報や映像を重ね合わせることで、教育、医療、エンターテインメント、産業など様々なシーンで利用できる革新的なデバイスです。2030年にはAR市場全体で1,000億ドルの市場規模に達するとの予測があります。Nittoグループは、2024年4月、ARデバイス用ホログラムの開発製造で世界をリードする英国企業TruLife Optics社 (以下、TLO社) の株式を一部取得し、ARグラス市場に参入しました。これまで培ってきたNittoの強みである積層技術、貼合技術とTLO社の有するホログラム関連技術を融合し、ARグラスの性能や快適性向上に向けた開発に注力していきます。



TOPICS 2 CO₂分離膜の事業化を推進

Nittoグループは、2022年5月に「カーボンニュートラル2050宣言」を発表しました。その実現に向けた取組みの一つとして、工場の排ガスからCO₂を分離・回収する高分子分離膜を活用した技術開発を行っています。同技術を活用してボイラーの排気ガスを直接回収する実証機 (年間回収量300ton) を滋賀事業所に導入しました。今後、CO₂分離膜の量産開始を予定しており、2030年に売上100億円を目指します。

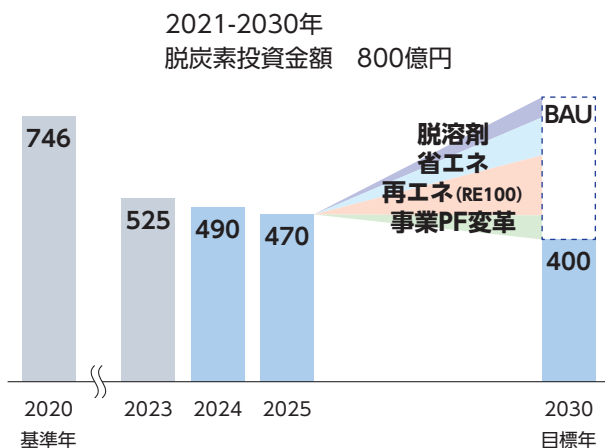
CO₂排出削減に向けた技術革新と事業化を推進し、持続可能な環境・社会を実現していきます。



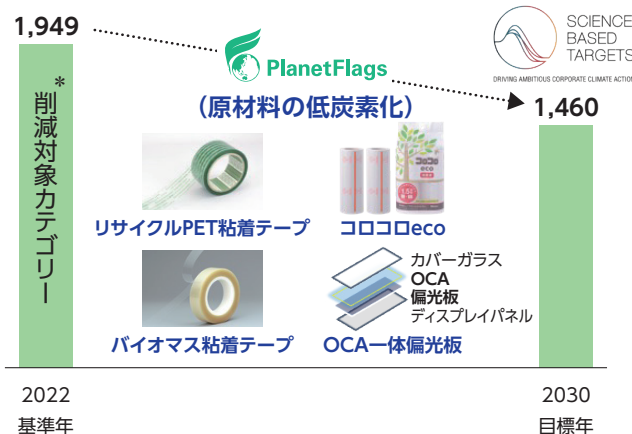
TOPICS 3 国際的イニシアチブ「SBT」認定を取得

Nittoグループは、サプライチェーン全体でのCO₂排出の管理や削減に向け、2024年8月に「Science Based Targets (SBT)」の認定を取得しました。これに伴い、2030年のGHG (CO₂) 排出量 (Scope1+2) を従来目標の470ktonから400kton (2020年度比46.3%削減) に見直しました。また、2030年のGHG (CO₂) 排出量 (Scope3) の目標を新たに設定し、基準年 (2022年) の排出量1,949ktonから25%削減となる1,460ktonとしました。引き続き、脱炭素社会の実現に向けた活動に取り組んでいきます。

Scope1+2 (kton)



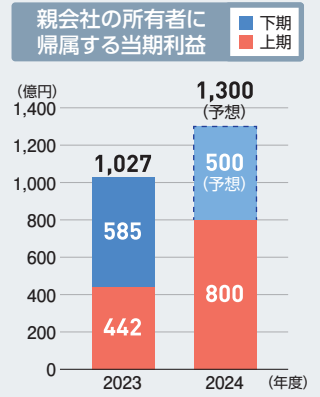
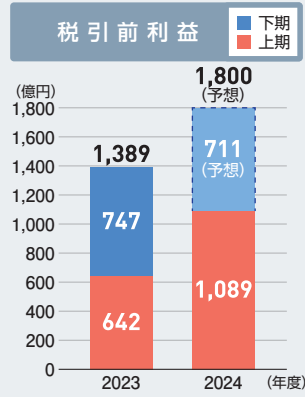
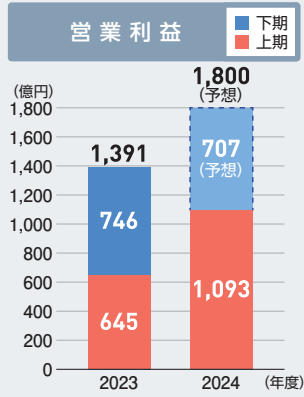
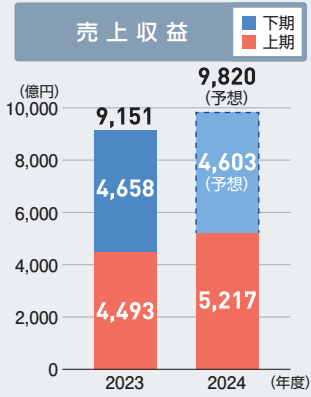
Scope3 (kton)



*削減対象カテゴリー: 1 購入した製品・サービス (重量ベース)、3 Scope1、2に含まれない燃料およびエネルギー活動、4 輸送、配送 (上流)、5 事業から出る廃棄物、12 販売した製品の廃棄

業績ハイライト

※2014年度より国際会計基準 IFRSを適用しています。
※数値は、表示単位未満を四捨五入して表示しています。



海外売上収益比率 ※1

84.5%

海外売上収益 **4,408**億円
国内売上収益 **809**億円

※1 2024年度上半期連結売上収益に
占める海外での売上収益の割合

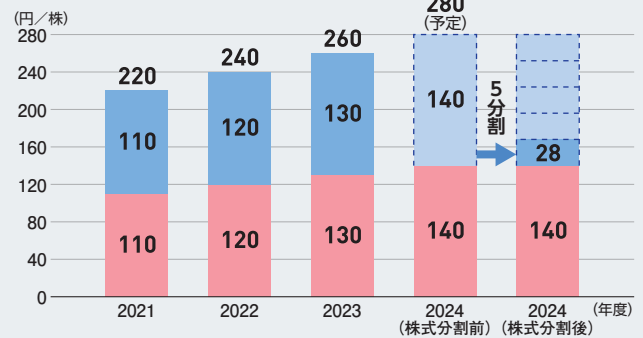
自己資本比率 ※2

78.0%

自己資本 **10,084**億円
総資産 **12,927**億円

※2 2024年度上半期(9月末時点)の
総資産に占める自己資本の割合

1株あたり配当金



ポイント

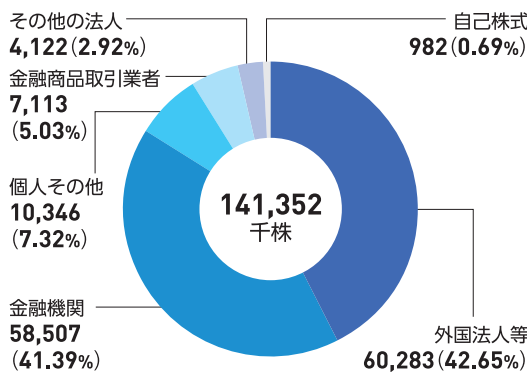
- 1 ハイエンドスマートフォン向け組み立て用部材は採用モデルが拡大
- 2 タブレット端末の生産が好調に推移し、光学フィルムや透明導電性フィルムの需要が大幅に増加
- 3 データセンター向けのストレージ需要の高まりやHDDのさらなる高容量化によりCISFLEX™が伸長
- 4 核酸受託製造において、米国マサチューセッツ州の拠点に新設した工場で、将来商用化が見込まれる案件の生産を開始

株式の状況 (2024年9月30日現在)

発行済株式の総数 141,352千株
株主数 27,105名

所有者別分布状況

(単位：千株)



■ 表紙写真：茨木事業所

株主メモ

証券コード 6988(業種:化学)
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当受領株主確定日 3月31日(期末配当)、9月30日(中間配当)
定時株主総会 6月
単元株式数 100株
上場金融商品取引所 東京証券取引所
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話:0120-094-777 (通話料無料)

※株式に関するお手続きについては、当社ホームページをご覧ください。
<https://www.nitto.com/jp/ja/ir/stock/procedure/>

Nitto公式SNSでも情報を発信しております。



上記のURLや二次元コードをクリックまたはタップいただくと、詳細ページをご覧いただけます。